

## 中間集計結果

# 「図書館休館による研究への影響についての緊急アンケート」

(4/17～4/23速報値)

2020/04/26 Sun.

「図書館休館対策プロジェクト」

※本プロジェクトについての説明はこちら

<https://closedlibrarycovid.wixsite.com/web-site>

- 本資料の目次

1. 調査概要
2. 調査結果のポイント
3. 回答者の特徴
4. 調査結果
5. 今後の取り組み

※「中間集計結果（単純集計表）」もぜひご覧ください。



※「中間集計結果（単純集計表）」もぜひご覧ください。

# 1. 調査概要

<b>調査目的</b>	新型コロナウィルス感染拡大の影響による図書館の休館やサービス縮小が、研究（※）の実施に生じている困難の現状を明らかにすること。 (※)「研究」には、研究者（大学・民間企業等の所属は不問）や学生（大学院生・大学生・研究生等）によるものなど、広範な意味での研究活動を含めています。
<b>調査対象</b>	広義の研究者（大学・民間企業等の所属は不問）及び学生（大学院生・大学生・研究生等）
<b>有効回答数</b>	1,959名
<b>調査期間</b>	2020年4月17日（金）～2020年4月23日（木） (※回答は4月30日（木）まで受付中)
<b>調査方法</b>	インターネット調査（マーリングリスト、SNS、ウェブサイト等を利用）
<b>調査主体</b>	「図書館休館対策プロジェクト」 ( <a href="https://closedlibrarycovid.wixsite.com/website">https://closedlibrarycovid.wixsite.com/website</a> )

※「中間集計結果（単純集計表）」もぜひご覧ください。

## 2. 調査結果のポイント

### ① 研究への影響

- ✓ 図書館休館で研究に「非常に重大な影響がある」人が約6割
- ✓ 卒論・修論・博論のための研究に大きな影響

### ② 利用している代替手段

- ✓ 必要な文献を「私費で購入」が6割超
- ✓ 「オンラインデータベース・電子ジャーナル」の利用が6割超

### ③ 研究を続けるために望む支援

- ✓ 「デジタル化資料の公開範囲拡大」を望む人が7割超
- ✓ 非来館型の貸出サービスを望む人が7割超

### 3. 回答者の特徴

- 回答者1,959人のうち、
  - 所属：**大学に所属する人が90.5%**
  - 肩書：学生（大学院生+大学生）が59.7%
  - 専攻：**人文・社会科学系\*が85.4%**
    - \*専攻分野「総合人文社会」「人文学」「社会科学」の合計
- 居住地：全国46都道府県+海外（最多は東京都38.7%）
- 普段から研究のために図書館を「週1回以上」使う人が59.5%、「2週間に1回程度」使う人が24.0%**



## 4. 調査結果

### ① 研究への影響

- 回答者1,959人のうち、
  - ✓ 図書館休館が研究に「非常に重大な影響がある」人が57.3%
    - 大学教員・非常勤講師からは、教育（講義準備や学生指導）への深刻な影響を懸念する声も多数
  - ✓ 「卒業論文・修士論文・博士論文等に必要な文献の収集ができない」人が59.8%
  - ✓ 「研究全般の継続が難しくなる」人が37.1%、「研究者としてのキャリア形成が困難になる」人が30.0%
    - 研究の質の低下を懸念する声も多数



## 4. 調査結果

### ② 利用している代替手段

- 回答者1,959人のうち、**利用している代替手段**として
  - ✓ 「私費で必要な文献を購入している」人が65.0%
  - ✓ 「公費（科研費、研究費、経費等）で必要な文献を購入している」人が20.8%
  - ✓ 「オンラインデータベースや電子ジャーナル等を利用して研究している」人が61.6%
  - ✓ 「代替手段がなく何もできていない」人が10.6%
    - ・ 購入できないもの・電子化されていないものが必要なため、**利用している代替手段では不十分**という声も多数



## 4. 調査結果

### ③ 研究を続けるために望む支援

- 回答者1,959人のうち、**研究を続けるために望む支援**として
  - ✓ 「**デジタル化資料の公開範囲拡大**（例：国立国会図書館内限定送信の資料を館外利用可能にする等）」**を望む人が76.4%**
    - ・オンラインデータベースの公開範囲・アクセス権の拡大を望む声も多数
  - ✓ 「研究目的の文献について、**来館を伴わない文献の貸出しサービスの実施**（例：文献の郵送や一部電子化等）」**を望む人が74.0%**
  - ✓ 「研究目的の文献について、**館内閲覧を伴わない貸出しサービスの実施**（例：事前予約した文献の受取のみ等）」**を望む人が65.2%**

## 5. 今後の取り組み

- ・緊急アンケートは4月30日（木）まで回答を受け付けています。
- ・その後**緊急アンケートの最終集計結果を公表し、研究への支援を求める要望書**を下記の組織・団体へ提出する予定です。
  - ・国立国会図書館 (<https://www.ndl.go.jp/>)
  - ・日本図書館協会 (<https://www.jla.or.jp/default.aspx>)
  - ・国立大学図書館協会 (<https://www.janul.jp/ja>)
  - ・私立大学図書館協会 (<https://www.jaspul.org/>)
  - ・公立大学協会図書館協議会 (<http://www.japul.org/>)
  - ・国公私立大学図書館協力委員会 (<https://julib.jp/>) などを予定
- ・**調査へのご協力本当にありがとうございました！！**
- ・**引き続き皆さんのが声を届けていきます！！！**